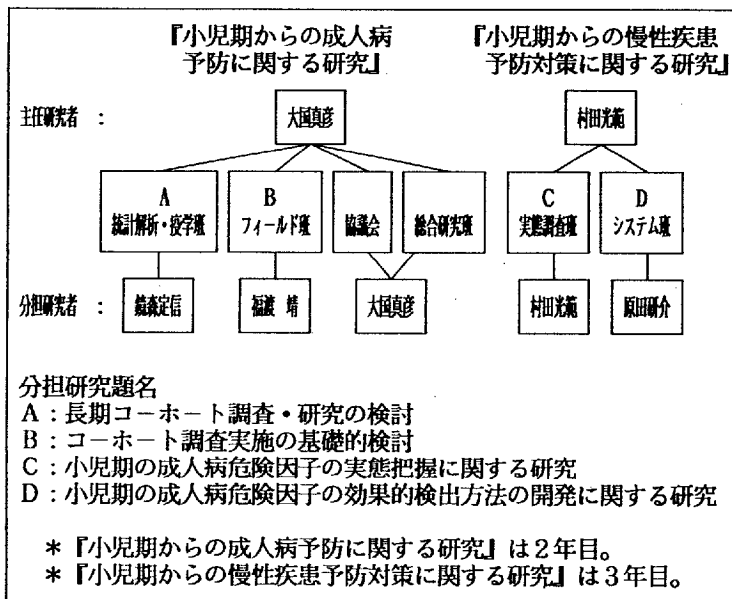


# 序

平成元年度より発足した厚生省心身障害研究「小児期からの慢性疾患予防対策に関する研究」班は、本年度に3年目の研究を終了し、これと併行しかつ相協力する形で平成2年度から発足した「小児期からの成人病予防に関する研究」班は2年目の研究成果をまとめた。

全体の組織は下図に示される如くである。

## 「小児期からの成人病予防に関する研究」班



本研究班には協議会が付置されており、この協議会において健診の通知、栄養調査様式、生活調査様式を作成し、また小児成人病予防のための介入方式の検討を開始した。これを受けて各班それぞれに研究を開始し、また長期間のフォローアップを始め、データのコンピューターへのストレージも始まった。

以下は協議会、総合研究班、統計解析・疫学班およびフィールド班の今年度の成績である。なお巻末に協議会委員及び各班の研究協力者名簿を掲げる。

< 主任研究 >

主任研究者	主任研究課題
大 国 真 彦 (日本大学)	小児期からの成人病予防に関する研究

< 分担研究 >

分担研究者	分担研究課題 *研究協力者	期待される研究成果
大 国 真 彦 (日本大学)	小児期からの成人病予防に関する総合研究 *日比 逸郎 (国立小児病院) *久道 茂 (東北大学)	・今後の長期にわたる コーホート調査、研究 の方法の統一。
鏡 森 定 信 (富山医科薬科大学)	長期コーホート調査・研究の検討 *五十嵐正紘 (自治医科大学) *斎藤 友博 (国立小児病院小児医療研究センター) *中川 秀昭 (金沢医科大学) *飯田 恭子 (富山県黒部保健所) *村瀬 雄二 (済生会神奈川県病院) *吉田 勝美 (慶応大学) *吉村 健清 (産業医科大学産業生態科学研究所)	・今後の追跡成績の時代 的変遷を分析するため の基礎情報を入手し、 調査を開始する。  研究協力機関： 富山県厚生部、 教育委員会、医師会
福 渡 靖 (順天堂大学)	コーホート調査実施の基礎的検討 *有坂 治 (順天堂大学) *大和田 操 (日本大学) *岡田伸太郎 (大阪大学) *神谷 齊 (国立療養所三重病院) *北田 実男 (大阪府立成人病センター) *清水 弘之 (岐阜大学) *住友真佐美 (東京都武蔵調布保健所狛江保健相談所) *荻輪 真澄 (国立公衆衛生院) *森尾 真介 (鳥取大学) *柴田 隆 (順天堂伊豆長岡病院) *竹内 宏一 (浜松医科大学公衆衛生学)	・フォローする体制に ついて、情報収集の 経路組織、費用等に ついての参考となり、 システム化が図れる。

平成4年3月

『小児期からの成人病予防に関する研究』班  
主任研究者 大 国 真 彦